

里地里山保全・再生の特征的取組 個票 A (対象地域の概況)

No.63		祝島・石垣の棚田		生物地理区分		アカマツ林	
				地域区分		中山間地	
所在地	都道府県	山口県		地形条件	1.山地	2.山麓部	3.丘陵・台地
	市町村	上関町			4.低地	5.その他	
	集落名称等	祝島		環境要素	1.二次林	2.草地	3.水田
					4.畑	5.小川・水路	6.ため池
		7.池沼・湿地	8.社寺林		9.人工林		
		10.その他					

環境要素(対象とする地域に含まれる環境要素)

:面積割合が最大のもの : それ以外の環境要素

自然環境・景観保全、国土保全関連の法指定状況	自然環境、景観、文化等の観点からの選定・評価
国立公園	「にほんの里 100 選」(H21)、「島の宝 100 景」
特徴的な動植物や生息環境	対象地の景観の現状
	<ul style="list-style-type: none"> ・何世代にも渡って人々が築いてきた石垣の段々畑は島の至る所にある。 ・石を 2 列に並べ、約 50cm 幅で石の間に土を入れて積み上げた石積み「練塀(ねりへい)」、これに屋根を乗せてできた家が古くから建ち並び、特異な集落景観を形成しており、観光資源ともなっている。



写真の説明：石垣の棚田(全景)
祝島集落中心地より南西方向に徒歩で約 1 時間のところにある。



写真の説明：石垣(近景)
下から見上げると、そのスケールに圧倒される。

No. 63		祝島・石垣の棚田		取組主体	1.地域コミュニティ(集落・組合等)
所在地	都道府県	山口県			2.団体・企業・学校等
	市町村	上関町			3.行政による支援施策の活用
	集落名称等	祝島			4.多様な主体が参加・連携する組織体
				5.その他	

取組主体	主な主体の名称		祝島住民	
	その他の主体の名称			
目的 : 主 : その他	1. 農林業を通じた里山や草地の利用(管理)の維持・活性化(伝統的なものも含む)			
	対象・取組内容	<p>【経済的自立に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・07年、「祝島未来航海プロジェクト」を発足させ、島の経済的自立を目指している。漁協を中心に、ヒジキやウニなど海産物だけでなく、無農薬栽培のピワの産直販売などに取り組む(現在は漁協合併などにより「祝島市場」が通信販売を担っている)。 ・放棄された棚田では、畜産経験のあるリターン者によって、エサの島内自給に基づく「放牧養豚」の試みが行われ、肉の生産・流通も始まっている。豚が鼻で土を掘り返し、糞尿で土壌を豊かにしてくれる放牧養豚は、棚田の再生をもたらすとともに、特産のピワの規格外品やサツマイモ、ミカンなど100%島内自給飼料で賄われており、持続可能な農畜産業となっている。 		
	支援措置			
	5. 地域の良好な景観の保全・修復			
取組内容	<p>【島の宝である石垣の保全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石垣が特異な集落景観を形成しており、観光資源ともなっているが、時間とともに風化してくるため、島外者も含めたボランティア隊を結成し、修復作業にも取り組んでいる。 ・長さ100m、高さが8m(一つは一部15m)もある巨大な石垣が3段も並んだ棚田は、他所では見られないスケールであり、島の石積み技術の確かさを示している。石の間からツタや木が伸びると、石を押し分けて形を崩してしまうため、島の人々が協力してツタなどを刈り取る作業を行い、石垣が守られている。 			
6. 里地里山の伝統的な生活文化の知恵や技術の継承				
対象	生活行事	*	神舞(かんまい): 4年に一度の伝統行事、対岸の大分県国東半島から神船を迎える「神舞(かんまい)」の大祭が続けられている	
	資源利用技術			
	その他			
連携・協働による取組内容・役割分担等				
取組の特徴や強調したい点		島の特性を活かした第一次産業を継承・発展させるとともに、その基盤となっている環境の保全に島ぐるみで取り組み、歴史・文化遺産とも組み合わせることで、持続可能な資源利用を進めている。		

取組の概要	島の特性を活かした第一次産業の継承・発展、「放牧養豚」の取組も	課題グループ 農林業 景観文化
事例の特性	環境保全型農漁業	
取組の中で他の地域の参考となる点	急勾配斜面の棚田など島の特性を活かした第一次産業を継承するとともにその基盤となっている自然環境の保全に島ぐるみで取り組む。放牧養豚など新しい試みにも挑戦し、持続可能な資源利用を進めている。	